

宮澤・レーン「スパイ冤罪事件」全資料目録

Ⅱ 草稿 Ⅱ

本稿は草稿です。できるだけ多くのひとの点検をいただき完璧に致したく、閲覧に供しております。お気づきあれば、当会事務局へ一報いただきたく、お願い致します。

なお、本草稿ご利用の際は、(とくに記録として残る引用の場合は、必ず原典にて確認のうえご活用くださるよう、お願い致します。

北大生・宮澤弘幸「スパイ冤罪事件」の真相を広める会・事務局

FAX Ⅱ 03・6272・5263

メール Ⅱ chya-kr@f8.dion.ne.jp

電話 Ⅱ 03・3264・2905

住所 Ⅱ 101-0061

東京都千代田区三崎町2の19の8 杉山ビル2F

千代田区労働組合協議会内

2017年2月10日 発行

目次

冤罪の被害者	1	冤罪ないし弾圧検証・論考・文献	8
ハロルド・メシー・レーン／		冤罪ないし罪状検証・文献	9
ポーリン・ローランド・システア・レーン／		事件時の背景に迫る著作・文献	9
宮澤弘幸／渡邊勝平／丸山護／黒岩喜久雄／石上茂子		親族交友関係等の聞き取り・書信・断章	11
冤罪の発生	2	北大・公式文献	12
冤罪の判決書	2	北大・公開展示	12
警察・司法の記録	3	北大・宮澤弘幸の身分等に係る学内記録	13
全体像に迫る著作	4	宮澤弘幸の遺した著作・記録	13
全体像に迫る著作／上田三著作／		北大人による論考	14
真相を広める会冊子／関連論考・記事・記録		戦後の主な新聞記事	15
上田誠吉旧蔵宮澤・レーン事件関係資料	6	北大から真相を広める会宛公文書	15
軍機保護法	6	真相を広める会の集会と講演とアピール	16
軍機保護法／軍機保護法の解説・検証・論考／		真相を広める会の記録・文献	17
軍機保護法関連法規／その他関連法規等／		資料・文献の保存・展示施設	18
戦後復活策動及び現行法規等			

冤罪の被害者

ハロルド・メシー・レーン

Harold M. Lane (↓以後ハロルド) 五十二歳(大

審院判決記載年齢)

元・北海道帝国大学予科英語教師(北大当局は一九四二年三月三十一日付で解約)「心の会」創立に加わる。一九四一年十二月八日検挙・四二年四月九日起訴・四二年十二月十四日一審判決(札幌地裁)懲役十五年。四三年六月十一日大審院判決(上告棄却)裁判官・三宅正太郎、神原甚造、江國龜、佐伯顯二、伏見正保罪名「軍機保護法・国防保安法違反」『外事警察概況』による。北海道内の刑務所に収監後、一九四三年九月、「日米交換船」でアメリカへ送還

ポーリン・ローランド・システア・レーン

Pauline R. S. Lane (↓以後ポーリン) 五十二歳(大

審院判決記載年齢)

元・北海道帝国大学予科英語教師(北大当局は一九四二年三月三十一日付で解約)「心の会」創立に加わる。一九四一年十二月八日検挙・四二年四月九日起訴・四二年十二月二十一日一審判決(札幌地裁)懲役十二年。四三年五月五日大審院判決(上告棄却)裁判官・沼義雄、駒田重義、日下巖、久礼田益喜、荻野益三郎)罪名「軍機保護法・国防保安法違反」『外事警察概況』

による)。北海道内の刑務所に収監後、一九四三年九月、「日米交換船」でアメリカへ送還

宮澤弘幸 二十五歳(大審院判決記載年齢)

北海道帝国大学工学部学生(北大当局は一九四二年四月一日付で退学・四五年十二月二十一日付で復学・四八年一月三十一日付で離籍処置)「心の会」創立に加わる。

一九四一年十二月八日検挙・四二年四月九日起訴・四二年十二月十六日一審判決(札幌地裁)懲役十五年。四三年五月二十七日大審院判決(上告棄却)裁判官・久保田美英、日下部義夫、宮城實、十川寛之助、伏見正保)罪名「軍機保護法違反」『外事警察概況』による。北海道・網走刑務所に収監。一九四五年六月宮城刑務所に移監後、同年十月十日、GHQ(連合国軍総司令部)占領軍統治機構)の覚書に基づき釈放。四十七年二月二十二日死亡

渡邊勝平 二十六歳(札幌地裁判決記載年齢)

北海道帝国大学工学部助手。レーン夫妻の知己。一九四一年十二月八日検挙・四二年四月九日起訴・同年十二月十八日一審判決(札幌地裁)懲役二年、裁判官・菅原二郎、松本重美、宮崎梧一)同月十九日有罪確定(上訴権放棄) 罪名「軍機保護法等違反」

丸山 護 二十九歳（札幌地裁判決記載年齢）

会社員（日本ポリドール社）『外事警察概況』による。

レーン夫妻の知己

一九四一年十二月二十七日検挙・四二年四月十日起訴・同年十二月十六日一審判決（札幌地裁）懲役二年、裁判官・菅原二郎、松本重美、宮崎梧一）上訴せず、有罪確定。 罪名Ⅱ軍機保護法等違反。

黒岩喜久雄 二十五歳（札幌地裁判決記載年齢）

無職（検挙の日に北海道帝国大学農学部を戦時繰上げ卒業）レーン夫妻の知己・双子の末娘の家庭教師

一九四一年十二月二十七日検挙・四二年四月十日起訴・同年十二月二十四日一審判決（札幌地裁）懲役二年執行猶予五年）上訴せず、有罪確定 罪名Ⅱ軍機保護法等違反。

石上茂子（シゲ）

元・レーン方女中（『外事警察概況』記載）

一九四一年十二月八日検挙・百日を超える勾留取調べの後、四二年三月十日「嫌疑なし」で釈放

◇

右の他に、ダニエル・ブルック・マッキンノン（公訴取消Ⅱ『外事警察概況』記載）、イーチェンヌ・ラボルド（容疑薄弱Ⅱ同）、大槻ユキ（嫌疑不十分Ⅱ同）の三人が同じ時期に前後して北海道の特高に検挙さ

れている。このうちダニエルは宮澤・レーン冤罪事件とは別の容疑だったと分かっているが、あとの二人については不明。

【冤罪の発生】

●「外謀容疑者一斉検挙」Ⅱ『昭和十六年中に於ける外事警察概況』（内務省警保局外事課作成内部文書↓後出）の「戦時特別措置関係」の項中「三 外謀容疑者一斉検挙」に「予て非常事態に備えて外謀容疑者名簿を整備し、綿密なる内偵を遂げつゝありたるが、十二月八日午前七時以降 司法及憲兵当局と緊密な連絡の下に左の如く全国的に一斉検挙を実施せり」（原文は旧仮名旧漢字）と記録されている。

●「きのう払曉一斉検挙」Ⅱ『北海タイムス』（現『北海道新聞』の前身紙の一つ）1941・12・9付朝刊。主見出しは「スパイ網一挙に覆滅」。本文は6行。あとは「内閣情報局発表」をそのまま掲載（原文は見出しとも旧仮名旧漢字）

【冤罪の判決書】

●大審院判決Ⅱハロルド、ポーリン、宮澤弘幸の分につき各判決書の原本が最高裁判所（以後↓「最高裁」と略記）に現存。

簿冊「昭和十八年五月分四冊の四 刑事判決原本 大審院」

宮澤弘幸Ⅱ昭和十八年（れ）第二二六

ハロルドⅡ昭和十八年（れ）第二二七

ポーリンⅡ昭和十八年（れ）第二一八

弁護士・上田誠吉（以後、上田弁護士）が右簿冊から当該判決書の原本複写を入手（1987・1・26）。現在、北海道大学大学文書館（↓「北大文書館」と略記）に収蔵されている。同複写のコピーが「北大生・宮澤弘幸『スパイ冤罪事件』の真相を広める会」（↓「真相を広める会」と略記）の事務局（↓「真相事務局」と略記）に収蔵されている。（↓「北大文書館蔵」「真相事務局蔵」と表記）ほかに『大審院刑事判例集』（第二二巻）、『思想月報』（一〇二号・昭和十八年四月、五月分）司法省刑事局思想部）にも宮澤判決の一部が収録されているが、伏字、および省略が多く、検証・研究文献としては価値あるが、判決記録としては不完全。（当該部分複写を北大文書館蔵）

●一審（札幌地裁）判決Ⅱ渡邊勝平、丸山護の分につき各判決の原本が札幌地方裁判所（↓「札幌地裁」と略記）に現存。（原本複写を北大文書館蔵、真相事務局蔵）

ほかに、ハロルド、ポーリン、宮澤弘幸、黒岩喜久雄、および渡邊勝平、丸山護の分につき内務省警保局外事課によつて書き写され（↓「書写」と表記）、内部資料として印刷された文書（『外事月報』昭和十八年二月分に所載）が現存。ただし証拠、罰条にかかる部分は省かれている。（同月報の当該複写を北大文書館蔵、真相事務局蔵）

【警察・司法の記録】

●『外事月報』（厳秘 外事月報 昭和〇年〇月分 No. 内務省警保局外事課）Ⅱ諜報（スパイ）事案等を扱う外事警察の月間活動を選別記録し、部外厳秘で限定配布した冊子（B5判簡易印字印刷）。これの「昭和十八年二月分」に宮澤弘幸らの一審判決の書写が収録されているのを荻野富士夫・小樽商科大学教授が発見。1938年8月分から44年9月分までの復刻合本・全11巻が不二出版から刊行（1994・6）されている。（国立国会図書館に収蔵↓「国会図書館蔵」と表記）

●『外事警察概況』（厳秘 昭和〇年中に於ける外事警察概況 内務省警保局）Ⅱ右『月報』等を基に年間の外事警察活動を編集・収録した同様部内冊子で、個々には正確を欠く部分もあるが、外事警察活動の概略を追うことが出来る。同じく全8巻の復刻合本が龍溪書舎から刊行（1980年7月）されている。（国会図書館蔵）

●『思想月報』（昭和〇年〇月 思想月報 第〇號 取扱注意 No.〇 極秘 司法省刑事局思想部）Ⅱ1934年7月から44年6月までの復刻合本（昭和前期思想資料第一期）所収）が文生書院から刊行されている。（国会図書館蔵）

●『特高月報』（内務省警保局）Ⅱ複製版が政経出版社から（1973年）、総目次集が文生書院から（1968年）、『特高警察関係資料集成』（第30巻・荻野富士夫編）が不二出版から（1994年）刊行されている。（国会図書館蔵）

館蔵)

【全体像に迫る著作】

〈全体像に迫る著作〉

●『引き裂かれた青春―戦争と国家秘密』Ⅱ真相を広める会・編・花伝社刊(2014・9・5)。本件・冤罪事件の全貌説明の先駆けとなる上田弁護士の三著作『戦争と国家秘密法』ある北大生の受難『人間の絆を求めて』などを底本に、先行成果を継承し、新たに判明した事実や理解・知見を基に、事件の全体像を明らかにする決定版となるよう編纂・刊行。全判決および主罰条である軍機保護法の全文収録。(国会図書館蔵、真相事務局で頒布)

〈上田三著作〉

●『戦争と国家秘密法―戦時下日本でなにが処罰されたか―』Ⅱ上田誠吉著・イクオリティ刊(1986・2・5第一刷、1986・3・20第二刷)。秘密法および秘密法制の全体像と問題点を全て洗い出した労作。Ⅲ国家秘密のうちそと」の項中「3 公知と秘密」で宮澤弘幸の事件を具体例として取り上げ、これを読み込んだ宮澤弘幸の義弟・秋間浩が上田弁護士の本格説明を訴える手紙を送ったことから、本件の全面展開となった。(国会図書館、北大文書館、各蔵)

●『ある北大生の受難―国家秘密法の爪痕―』Ⅱ上田誠吉著・朝日新聞社刊(1987・9・28第一刷、19

87・11・20日第二刷)。第二刷には、マライーニの著作発見の件が追い込み記述されている。版權が著者側に移り、花伝社から復刻版刊行(2013・4・10第一刷)。(国会図書館、北大文書館、真相事務局、各蔵)

●『人間の絆を求めて―国家秘密法の周辺―』Ⅱ上田誠吉著・花伝社刊(1988・7・20)。新装版(2013・5)も刊行。(国会図書館、北大文書館、真相事務局、各蔵)

〈真相を広める会冊子〉

●『スパイ冤罪 宮澤・レーン事件 真相を知ってほしい』Ⅱ同会編・刊(2013・2・22)。花伝社刊『引き裂かれた青春』の底本。略称・第一パンフ。▽第一部「スパイ冤罪を知ってほしい」▽第二部「北大における外国人教師」(寄稿・山本玉樹)▽第三部「秘密保全法への道を許さない」(寄稿・東海林智)▽第四部「冤罪家族の七十二年」(寄稿・山野井孝有)。(国会図書館、北大文書館、真相事務局、各蔵)

●『宮澤・レーン事件 冤罪の構図』Ⅱ同会編・刊(2013・10・10)。花伝社刊『引き裂かれた青春』の底本。第二パンフ。(国会図書館、北大文書館、真相事務局、各蔵)

●『宮澤・レーン「スパイ冤罪事件」 引き裂かれた青春 「登山時報」所載改訂版』Ⅱ山野井孝有著・同会編・刊(2014・2・22第一刷、2014・7・1第二

刷)。第二刷では巻末「正確に伝えたい特記事項」部分を外している。

本冊子は、真相を広める会・山野井孝有が月刊『登山時報』に寄稿した原稿を基に、掲載後、新たに分かった事実・理解を加えて再編集。花伝社刊『引き裂かれた青春』の底本・第三パンフ。(国会図書館、北大文書館、真相事務局、各蔵)

●『宮澤・レーン「スパイ冤罪事件」北大のとった処置と責任 冊子「真相を知ってほしい」補訂』Ⅱ同会編・刊(2014・2・22)。第一パンフ発行後の展開を収録。北大との交渉展開、交わした文書・連絡等の全てを収録。花伝社刊『引き裂かれた青春』の底本。第四パンフ。(国会図書館、北大文書館、真相事務局、各蔵)

●『宮澤・レーン「スパイ冤罪事件」北大に求めた処置と責任 冊子「真相を知ってほしい」補訂第2版』Ⅱ同会編・刊(2015・12・8)。第四パンフを全面見直し、同パンフ刊後の展開を加え、全面検証のうえ再編集した決定版。花伝社刊『引き裂かれた青春』の底本。第五パンフ。(国会図書館、北大文書館、真相事務局、各蔵)

〈関連論考・記事・記録〉

●「岳人・宮澤弘幸『スパイ冤罪事件』―青春を引き裂いた戦争―」Ⅱ山野井孝有・月刊『登山時報』(日本勤労者山岳連盟編・刊)に寄稿連載(2013年8月号〜2014年1月号)。(真相事務局蔵)

●「国防保安法とスパイ事件―なにが処罰されたか―」

Ⅱ上田誠吉・月刊『文化評論』(1986年1月号・新日本出版社刊)所載。この論考が牽引となって『戦争と国家秘密法』に取り掛かる。(国会図書館、北大文書館、各蔵)

●「スパイ防止ってなんだ 新聞週間を機に」Ⅱ『朝日新聞』朝刊連載(1986・10・12〜21、計10回)。①②⑩で宮澤弘幸の事例を冤罪の視点から、新聞記事として初めて取り上げる。上田弁護士の見解も織り込む。(国会図書館、北大文書館、真相事務局、各蔵)

●「北方の『国家秘密』―「スパイ」にされた青年たち―」Ⅱ上田誠吉・月刊『文化評論』(1987年10月号)所載。(国会図書館、北大文書館、各蔵)

●「ドラマの終幕・コロラドへの旅―ある北大生の受難」余話Ⅱ上田誠吉・月刊『文化評論』(1988年4月号)所載。この旅でマライニの未邦訳著作が見つかり、これが牽引となって『人間の絆を求めて』に着手、「上田三著作」が揃う。(国会図書館、北大文書館、各蔵)

●ビデオ発刊「レーン宮澤事件―もうひとつの12月8日」Ⅱビデオプレス刊・発売(1993・12)。演出・秋元健一。(北大文書館、真相事務局、各蔵)

●テレビ報道「スパイの妹と呼ばれて―73年目の宮澤・レーン事件」ⅡNHK北海道クローズアップ(2014・6・28放送)

●テレビ報道「兄はスパイじゃない―北大生の妹73年目

の苦闘」NHK地方発ドキュメンタリー（2014・7・15全国放送）

●ラジオ報道「秘密く今 明らかになる ある大学生の死」毎日放送（大阪）報道特別番組（2014・3・31放送）

【上田誠吉旧蔵宮澤・レーン事件関係資料】

上田弁護士（1926～2009年）の遺族（妻・圭子）が北大に寄贈（2011・11・29）した同弁護士の手元資料。北大文書館・井上高聡（現・准教授）が上田弁護士本人の仕分けを基に整理して「目録」を作成。同文書館の年報第7号（2012年3月）に所載。全1110点。

▽I宮澤・レーン事件関係判決書の原本複写。

▽IIノート・原稿ファイルⅡ「高橋あや子聞き取り」など

▽III資料ファイル（1）～（16）Ⅱ上田弁護士宛て秋間浩書簡など書簡多数、宮澤雄也戸籍謄本など基礎資料、黒岩喜久雄聞き取りなど関係者聞き取りメモ、「ある北大生の受難」構成案など構想、草稿、メモ、写真、その他。（北大文書館蔵）

【軍機保護法】

〈軍機保護法〉

●軍機保護法（1937年改正）Ⅱ官報第三一八五號（昭

和十二年八月十四日土曜日）に所載。1937年3月9日貴族院可決。同年8月7日衆議院可決（付帯決議付）、同年8月13日公布、同年10月10日施行。（国会図書館蔵）

●軍機保護法・付帯決議Ⅱ官報號外「昭和十二年八月八日衆議院議事速記録第十三號」に所載。（国会図書館蔵）

●軍機保護法・議會審議録Ⅱ▽第七十回帝國議會貴族院議事速記録第九號・第十四號（『帝國議會貴族院議事速記録63』収録。東京大学出版会刊）▽帝國議會貴族院委員會速記録（『帝國議會貴族院委員會速記録昭和編61』収録。東京大学出版会刊）▽第七十一回帝國議會衆議院議事速記録第七號・第十三號（『帝國議會衆議院議事速記録69』収録。東京大学出版会刊）▽帝國議會衆議院委員會速記録（『帝國議會衆議院委員會速記録昭和編82』（国会図書館蔵）

●軍機保護法海軍施行規則（海軍省令第二十八號）Ⅱ規則は省令で制定。1937年10月7日付。39年8月21日付（同省令第二十號）、同年12月21日付（同省令三十八號）、40年10月31日付（同省令二十二號）、41年3月付（同省令第八號）でそれぞれ一部を改正。官報のほか、『戦時、軍政法令集』（国書刊行会・1984年刊）にも収録されている。（国会図書館蔵）

●軍機保護法陸軍施行規則（陸軍省令第四十三號）Ⅱ1937年10月7日付。39年12月12日付（同省令五十九號）で一部を改正。官報のほか『戦時、軍政法令

集』に収録。(国会図書館蔵)

〈軍機保護法の解説・検証・論考〉

- 『軍機保護法』日高巳雄著・羽田書店刊(1937.12・15) 日高は陸軍省書記官・法務官。(国会図書館蔵)

- 『改訂 軍機保護法』日高巳雄著・羽田書店刊(1942・2・20) (国会図書館蔵)

- 「研究ノート 軍機保護法等の制定過程と問題点」(防衛研究所紀要 第14巻第1号 防衛省 2011・11・12) 林武・和田朋幸・大八木敦裕。(国会図書館蔵)

- 「軍機保護法の運用を顧みて」伊達秋雄(当時・最高裁調査官)・月刊『ジュリスト』(有斐閣1954年6月号) 特集「秘密保護に関する法制」への寄稿。日米相互防衛援助協定等に伴う秘密保護法にからむ特集記事。(国会図書館蔵)

〈軍機保護法関連法規〉

- 『戦時軍事法令集』国書刊行会編・刊(1984・3・15) (国会図書館蔵)

- 戦時刑事特別法法律第六十四號(1942・2・24)

- 要塞地帯法

- 軍事資源秘密保護法法律第二十五號(1939・3・

25)

- 陸軍刑法

- 海軍刑法

- 国防保安法

- 治安維持法

- 国家総動員法

- 戦時特別措置

- 帝国国策遂行要領

- 「防諜参考資料 防諜講演資料」内務省警保局外事課編(1941・4) (国会図書館蔵)

- 『防諜関係法令集』司法省刑事局編・清水書店刊(1941・7) (国会図書館蔵)

- 『講話録 特輯(戦時法令解説)』警察講習所編・刊(1942・11・26)

〈その他関連法規等〉

- 『戦時行刑実録』戦時行刑実録編纂委員会編・財団法人矯正協会刊(1966・3・31) (国会図書館蔵)

- 收容者食糧給与規定 戦時飢餓下にあつて、刑務所服役者に給する食糧は一般配給量を上回ってはならないという発想で生まれた規定(1943・8)

- 政治的市民的及び宗教的自由制限の除去に関する覚書 Ⅱ いわゆる「GHQ指令」(連合国軍総司令部)。超法規命令としての強制力があつた。(国会図書館蔵)

- 思想犯受刑者の釈放に関する通達(司法省刑事局長)

●勅令Ⅱ議會審議を経ない天皇大権による法令。GHQ指令による軍機保護法などの廃止は勅令に拠った。

〈戦後復活策動及び現行法規等〉

●日米相互防衛援助協定等に伴う秘密保護法

●防衛秘密に係るスパイ行為等の防止に関する法律(案)Ⅱ1982年7月

●国家秘密法(案)Ⅱ通称・スパイ防止法 1985年12月、審議未了で廃案。

●防衛秘密を外国に通報する行為等の防止に関する法律案。1987年2月

●特定秘密保護法Ⅱ衆議院に続き参議院でも強行採決により可決成立(2013・12・6)

【冤罪ないし弾圧検証・論考・文献】

●『北の特高警察』Ⅱ荻野富士夫著・新日本出版社刊(1991・10)。(国会図書館、北大文書館、各蔵)

●『特高警察体制史 社会運動抑圧取締の構造と実態』増補新装版Ⅱ荻野富士夫著・せきた書房刊(1988・11)。(国会図書館、北大文書館、各蔵)

●『戦時下の言論・思想弾圧』Ⅱ荻野富士夫・講演録(真相を広める会『会報』第14号)。(真相事務局蔵)

●『社会運動取締管見』Ⅱ安井英二・『警察研究』(1931年7月)に所載。(北大文書館蔵)

●『アメリカ東京総領事館調査報告書』Ⅱ外事課が入手

したもの『外事警察概況』昭和十六年分に収録(当該分を北大文書館蔵)

●「大槻ユキに関する消息」Ⅱ富森虔児が福島清らに宛てた書信。大槻ユキに関する消息は「北海道社会文庫通信」(後出)にも断片あるが、極めて乏しい。(真相事務局蔵)

●学徒出陣Ⅱ『朝日新聞』1943年10月20日付朝刊。宮澤弘幸の弟・晃(当時・慶大生)が壮行の辞を述べる式次第になっていたが、直前になって差し替えられた。弘幸の弟と分かったことによる。

●レーン夫妻娘解雇Ⅱ『外事月報』1939年9月分によると、札幌市内のホテルでアルバイトすることになっていたのを、要監視対象者の娘であることから、外事警察の差し金で解雇した。(当該分は真相事務局蔵)

●『十五年戦争下の登山―研究ノート』Ⅱ西本武志著・本の泉社刊(2010・8)。(国会図書館蔵)

●『網走獄中記』Ⅱ村上国治著・日本青年出版社刊(1970)。(国会図書館蔵)

●『昭和史全記録』Ⅱ毎日新聞社刊(1989・3・5第一刷)。(国会図書館、真相事務局、各蔵)

●『戦時下の北星女学校』Ⅱ同校スミス・ミッシェン・センター編・響文社刊(2007・3)。キリスト教弾圧が生徒にも及んでいたことが手記によって証言されている。(国会図書館蔵)

●『北光教会七十年の歩み』Ⅱ『七十年の歩み 札幌北

光教会創立70周年記念1896〜1966』同教会編・刊(1966・10・2)。戦時中のキリスト教会のようを自己批判込め検証している。同教会の宣教師を務めたボーリンの父ジョージ・ミラー・ローランドと妻ヘレン・グッドリッジの事績にも触れている。(国会図書館蔵)

● 論考「1941年12月8日 スパイ冤罪・宮澤弘幸検挙時の検証」Ⅱ大住広人・真相を広める会ホームページに掲載。(真相事務局蔵)

【冤罪ないし罪状検証・文献】

● 『日米交換船』Ⅱ加藤典洋 鶴見俊輔 黒川創ら談・著・新潮社刊(2006・3)。レーン夫妻の乗船経緯にも詳しい。(国会図書館、北大文書館、各蔵)

● 『燈臺船 羅州丸』Ⅱ齋藤謙蔵著・東晃社刊(1942・7・15)。宮澤弘幸が便乗した船の来歴に詳しい。(国会図書館蔵)

● 根室海軍飛行場の見学の件公文書Ⅱ「大要機密第二七一號の二」昭和九年八月四日付、(海軍)大湊要港部副官発根室町長他宛。件名は「米國海軍武官根室飛行場見学の件通知」。根室町長の昭和九年八月六日付受領印が押印されている。(根室市の郷土史家・近藤敬幸が発見、原本複写所蔵、コピー真相事務局蔵)

● 『根室千島両國郷土史』Ⅱ本城玉藻編・1933年刊。根室海軍飛行場の竣工記録所載。(国会図書館蔵)

● 『根室要覧』Ⅱ根室町発行(1934年版)。根室海軍飛行場の記述所載。(根室市の郷土史家・近藤敬幸所蔵)

● 「根室千島鳥瞰図」Ⅱ『根室日報』社が1934年に発行した絵葉書で、根室海軍飛行場の全景が入っている。『引き裂かれた青春』に複写掲載。(コピー真相事務局蔵)

● 「北緯五〇度線の旅―サハリン少数民族との交流を求めて」Ⅱ田中了・月刊『世界』(岩波書店)1988年7月号所載。田中了はウイルタ協会事務局長。宮澤弘幸が訪ねたオタスの森についてルポしている。(国会図書館蔵)

● 「北東方面海軍作戦」Ⅱ防衛庁防衛研究所戦史室編。上敷香飛行場など記載。(国会図書館蔵)

● 北東方面陸軍作戦Ⅱ防衛庁防衛研究所戦史室編。北千島要塞など記載。(国会図書館蔵)

● 「ニッポン号世界一周」Ⅱ『東京日日新聞』(現・毎日新聞)1939年8月27日付朝刊。根室海軍飛行場が国民公知の存在だったことが知れる。(国会図書館、北大文書館、各蔵)

● 「北千島新風土記」Ⅱ『朝日新聞』1941年7月17日から計8回連載。軍施設のある北千島の風物がそれなり報じられている。(国会図書館、北大文書館、各蔵)

【事件時の背景に迫る著作・文献】

● 『武田弘道追悼集 会議は踊る ただひとたびの』Ⅱミネルヴァ書房刊(1985・7・27)。武田弘道は「心

の会」創立の一員で、北大予科から京都大学に入学。同大教授となったが、事故死。フオスコ・マライーニらが寄稿、「心の会」の追想が記されている。(国会図書館、北大文書館、各蔵)

●『フオスコの愛した日本 受難のなかで結ぶ友情』Ⅱ 石戸谷滋著・風媒社刊(1989・6・15)。フオスコの動静を通して、宮澤弘幸と「心の会」の消息、そして軍国日本の様相が織り込まれている。(国会図書館、北大文書館、各蔵)

●『白壁館の人たち』Ⅱ村田豊雄著・にれの花詩社刊(1969)。村田豊雄は北大工学部書記(会計係、戦後に事務長)。戦前・戦中の北大をめぐる人模様が随想風に描かれ、宮澤弘幸らが検挙された前後の風聞・伝聞も織り込まれている。はじめ『北工会誌』に連載。(北大文書館蔵)

●『バビロン女囚の記』Ⅱ内田ヒデ・『ホーリネス・バンドの軌跡 リバイバルとキリスト教弾圧』昭和キリスト教弾圧史料行会編・新教出版社1983・9刊)に収録。同会牧師で、戦時キリスト教弾圧で札幌拘留所に留置されていたとき、ポーリンらと出会い、当時の消息を記している。(国会図書館、北大文書館、各蔵)

●『日本を映す小さな鏡』Ⅱアール・マイナー著・吉田健一訳・筑摩書房刊(1962・6・30)。アール・マイナーはレーン夫妻の四女バージニアの夫。GHQ(連合国軍総司令部)要員を経て帰国後アメリカ・プリンストン大学教授。原題はA Little mirror of Japan レー

ン夫妻の検挙された前後の消息、時代の様相が家族の回想を基に織り込まれている。(国会図書館、北大文書館、各蔵)

●『隨筆日本 イタリア人の見た昭和の日本』Ⅱフオスコ・マライーニ著・岡田温司監訳・松籟社刊(2009・11)。北大生・宮澤弘幸と最も濃密な交友関係にあったイタリア人留学生(北大医学部無給助手・宮澤ら検挙時は京都大学イタリア語科教師)。京大赴任までは自宅に宮澤弘幸を下宿させている。第二章「東京、世界の交差点 沈黙に語りかける」で、鋭く温かく書き込んでいる。戦後・釈放後の宮澤弘幸の肉声を記録した文献として、おそらくは唯一と思われる。原題(イタリア語)Ore giapponesi(1969年刊)英語訳刊 Meeting with Japan (The Viking Press 1960刊・エリック・モスバツヒア訳)。(国会図書館蔵)

●『PASSEROTTO 半世紀前の札幌の思い出』Ⅱマライーニ『武田弘道追悼集』への寄稿の表題。

●『私の日本体験』Ⅱフオスコ・マライーニ・季刊『国際交流』(77号1997・10・1国際交流基金刊)に寄稿(肩書・フイレンツェ大学名誉教授)。(国会図書館蔵)

冤罪事件との直接かわりはないが、このほかマライーニの著作には▽『アイヌのイクバスイ』(アイヌ民族博物館刊1994年・イタリア文化協会東洋研究書第一巻)▽『チベットーそこに秘められたもの』(理論社1958

年刊)▽『ヒマラヤの真珠』(理論社1956年刊)―など。

●「番外 フォスコ・マライーニ人物伝」〓北大山岳部ホームページ。Fosco Maraini (1912~2004年)

●『ダーチャと日本の強制収容所』〓望月紀子著・未来社刊(2015・3・10)。ダーチャはマライーニの長女で作家。(国会図書館蔵)

●『スキヤンダラスな人びと―レーン夫妻スパイ事件と私たち』〓岸本羊一著・新教出版社刊(1991・7)。キリスト者の視点からキリスト者への戦時弾圧を告発。(国会図書館、北大文書館、各蔵)

●『国家秘密法に反対する市民集会「宮沢事件の真実」(札幌弁護士会主催)記録集』〓同弁護士会編・刊(1962・10・)。発言録、寄稿、聞き書き、手記など収録。

●「もう一つの12月8日(1987・12・6の放送から)落合恵子のちよつと待って MONDAY」〓JOAR文化放送発行(1988・3・31)。松本照男、上田誠吉、秋間美江子が各寄稿。(北大文書館、真相事務局、各蔵)

●「H・ヘッカー来訪者録」コピー〓1938~1942年分。ヘルマン・ヘッカーは北大予科のドイツ語教師で、「心の会」の創立会員。自宅官舎にノートを常備し、来訪者が自由に書き込んだ。(北大文書館蔵)

●ヘッカー追悼特集〓雑誌『北大季刊』(北大季刊刊行会

刊。1969年31号で廃刊)に「退官記念講演」(28号)「追悼特集」(30号)所載。(国会図書館蔵)

●「北星学園創立百周年記念とレーン家の娘たち」〓常田二郎・新聞『基督教世界』(基督教世界社刊・1987年10月10日)に所載。常田二郎は牧師。(北大文書館蔵)

●『北星学園百年史』〓同学園編・刊(1990・7)。北星学園はアメリカ人宣教師が1880年に前身を創立し、一貫して女子教育に実績を重ねると共に、札幌と周辺在住の外国人らと共に文化交流の場を設けてきている。(国会図書館、北大文書館、各蔵)

●「フジクラにかかる人ありき」〓ある北大生の受難』を讀んで」〓加賀谷誠一・藤倉電線社内誌『フジクラ』(1988年3月号)に所載。加賀谷は同社社長。宮澤弘幸の父親は同社工場長。(北大文書館蔵)

●「宮沢弘幸君との悲しきふれあい」〓大條正義・『東京エルム新聞』(東京エルム会刊。2004年廃刊)の323号と324号に「上」と「下」で掲載。(国会図書館蔵)。大條正義は宮澤弘幸の先輩で「心の会」の命名者。予科時代の宮澤弘幸と下宿を共にしている。

【親族交友関係等の聞き取り・書信・断章】

●秋間美江子〓聞き手・上田弁護士。書簡往復も多。(北大文書館蔵)▽集会へのメッセージ(真相を広める会『会報』第5号収録)▽発言録「がんより国の政治が

怖いのです」(同『会報』第7号)▽発言録「スパイ家族の苦しみ」(同『会報』第9号)

●大條正義Ⅱ聞き手・郷路征記(弁護士・札幌弁護士会)。

1987年6月18日札幌弁護士会 Ⅱ収録。(北大文書館、真相事務局、各蔵)

●松本照男Ⅱ聞き手・郷路征記(弁護士・札幌弁護士会)。

1987・6・18札幌弁護士会 Ⅱ収録。松本は上田弁護士との書簡往復も多。「心の会」創立の一員。(北大文書館蔵)。山本玉樹宛て書信(2015・6・18)でレーン夫妻関係のメモ、写真コピーを「真相を広める会」へも提供。

●滝沢義郎Ⅱ上田弁護士宛て書簡(北大文書館蔵)

●マライーニⅡ上田弁護士宛て書簡(北大文書館蔵)

●武田ひろ子Ⅱ聞き手・岩本勝彦(弁護士・札幌弁護士会)。電話による。(北大文書館蔵)

●小沢保知Ⅱ上田弁護士宛て書簡(北大文書館蔵)

●高橋あや子Ⅱ聞き手・上田弁護士。書簡往復も多。(北大文書館蔵)

●田中しづⅡ上田弁護士宛て書簡(北大文書館蔵)

●黒岩喜久雄Ⅱ聞き手・上田弁護士。書簡往復も多。(北大文書館蔵)

●内田ヒデⅡ聞き手・上田弁護士。(北大文書館蔵)

●石戸谷滋Ⅱ上田弁護士宛て書簡(北大文書館蔵)

●荻野富士夫Ⅱ上田弁護士宛て書簡(北大文書館蔵)

●高村淑子Ⅱレーン夫妻の「ドロシー、キャサリンと遊

んだ記憶について、『毎日新聞』寄稿欄「女の気持ち」(2013・10・21)に投稿。

●「フォスコ・マライーニさんから聞く」Ⅱ札幌弁護士会1987年5月1日。(北大文書館蔵)

●「斎藤先生に聴く」Ⅱ1987・2聞き手・岩本勝彦(弁護士・札幌弁護士会)。(北大文書館蔵)

●札幌弁護士会『会報』Ⅱ

●『札幌弁護士会百年史』Ⅱ1983・7・28

【北大・公式文献】

●『北海道大学創基八十年史』Ⅱ1965年刊(国会図書館、北大文書館、各蔵)

●『北大百年史』通説・部局史Ⅱ1982年7月、2080年3月刊(国会図書館、北大文書館、各蔵)

●『北大の125年』Ⅱ2001年3月刊(国会図書館、北大文書館、各蔵)

●『写真集 北大125年』Ⅱ(国会図書館、北大文書館、各蔵)

●『北大百二十五年史』Ⅱ2003年12月刊(国会図書館、北大文書館、各蔵)

【北大・公開展示】

●北大総合博物館・展示Ⅱ簡単な経緯を記したパネル。

●北大百年記念館・展示Ⅱ「北海道大学沿革史」展示の中に宮澤・レーン冤罪事件にかかる一面を設けている。

【北大・宮澤弘幸の身分等に係る学内記録】

- 豫科学籍簿（1938～1941年）
- 工学部学籍簿（1941～1947年）
- 退學願（1942年4月1日付）・退學指令書議案書
- 原簿名「入學退學休學卒業ニ關スル書類自昭和十七年至昭和十九年」
- 第四百二十七回教授会（1942年5月7日付）
- 原簿名「教授会記録 昭和十七年度北海道帝國大学 工学部」
- 復學願（1945年12月8日付）・復學指令議案書
- 原簿名「退學休學入學卒業關係自昭和二十年四月至昭和二十一年」
- 死亡届（1948年1月31日付）・休退學許可伺
- 原簿名「休學退學復學伺簿 昭和二十三年度以降」
- 第五百五十五回教授会（1948年3月11日付）
- 原簿名「教授会記録 昭和二十一年度北海道帝國大学 工学部」

*以上、原本乃至原本複写は北大文書館に所蔵。真相事務局にもコピー蔵。

【宮澤弘幸の遺した著作・記録】

- 「大陸一貫鉄道論」
- 南滿州鐵道株式会社（満鉄）が学生・生徒向けに公募した懸賞論文に、受賞後、手を加えた著作を同社発行の『満鉄グラフ』（1941年5月号

（8月号）に連載。（北大文書館蔵）

- 「満州を巡つて（一）」
- 『北海道帝國大学新聞』第241号（1940年11月12日付）2面に掲載。以下「満州を巡りて（二）」旅行メモより
- 『北海道帝國大学新聞』第242号（1940年11月26日付）4面、「満州を巡りて―旅行メモより」
- 『北海道帝國大学新聞』第243号（1940年12月17日付）4面に連載。（北大文書館蔵）

- 「戦車を習ふ」
- 『北海道帝國大学新聞』第251号（1941年6月10日付）2面に掲載。（北大文書館蔵）

- 詩作「真理は時に嘆く」
- 『櫻星會雜誌』（北大予科文芸部）第四十六号に掲載。（北大文書館蔵）

- 山の詩、ほか一篇。（表題のみ北大文書館蔵）

- 女性観ノート
- 『北大文芸』（1938年11月）（表題のみ北大文書館蔵）

- 弁論・演題
- 「宗教に対する一私見」（1938年弁論部例会）
- 「美を見凝めて」（1938年6月15日春季札幌公開講演会）
- 「不思議な話」（1938年8月20日）
- 27日夏季巡回講演会
- 「人間の問題」（1940年2月10日予科実科合同講演会）
- いずれも『北海道帝國大学新聞』に掲載。（北大文書館蔵）

- 雪小屋（イグルー）
- 実験手記
- 宮澤弘幸、マライーニ連名で『北海タイムス』掲載（1940・2・4）

- 十勝連峰縦走記録
- 『北海タイムス』に掲載（1940・3・24、25朝刊に上・下）

●写真アルバムⅡ北大予科入学(1937年4月)以来、宮澤弘幸が学内外で撮影、あるいは撮影された写真を整理し、克明に説明・所感を添記したアルバム。遺族(実妹)・秋間美江子が二度にわたって北大に寄贈(2012年10月24日、2014年5月17日)。北大文書館で収納。

●「心の会」発足記念写真Ⅱ原版の所在は不明。印刷されたものでは『武田弘道追悼集』に掲載されているのが、一番古いと思われる。太黒宅で撮影され、会の発足時の全員が写っている。『引き裂かれた青春』にもコピー掲載(34ページ)

●マライーニ帰国時の記念写真Ⅱ原版の所在は不明。印刷されたものでは『フオスコの愛した日本』掲載が最初。『引き裂かれた青春』にもコピー掲載(118ページ)。マライーニと家族、宮澤弘幸と父・雄也、弟・晃らが写っている。1946年2月16日の撮影で、宮澤弘幸はこの一年後の1947年2月22日に死去。

●留学希望Ⅱ『朝日新聞』朝刊一面コラム「天声人語」(1946・1・25、1946・2・6)にアメリカ留学を素材にした世情寸評を掲載、宮澤弘幸を匿名で揶揄している。北大文書館年報第9号に全文転載。(北大文書館蔵)

【北大による論考】

●逸見勝亮「宮澤弘幸・レーン夫妻軍機保護法違反冤罪

事件再考——北海道大学所蔵史料を中心に——」Ⅱ『北海道大学文書館年報』第5号(2010・3・31)所載。肩書は文書館・館長。事実関係を調べたうえで北大としての対応に初めての論及。宮澤弘幸の学籍簿、教授会記録、レーン夫妻との北大教師契約、文部省当局との往復文書等の原本写しを収録。(北大文書館蔵)

●井上勝生「戦時下、時代に棹さした北大生宮澤弘幸再論：逸見勝亮氏『宮澤弘幸・レーン夫妻軍機保護法違反冤罪事件再考』評」Ⅱ『北海道大学文書館年報』第6号(2011・3・31)所載。肩書は北大名誉教授。「評」とあるように、逸見論考の資料解釈に対する批判が主体。(北大文書館蔵)

●井上高聡「研究ノート 工学部学生宮澤弘幸の在学について」Ⅱ『北海道大学文書館年報』第9号(2014・3・31)所載。肩書は大学文書館員(現・准教授)。逸見論考以後に見つかった学内文書・記録類、および宮澤弘幸の北大生としての学業、課外活動等を記録した文書・記録類、宮澤弘幸が『北海道帝國大學新聞』等に寄稿・掲載された作品・論考等の写しなど関係文献を全収録し論考。(北大文書館蔵)

●『治安維持法』下の北大生の抵抗運動Ⅱ河野民雄編著(真相事務局蔵)

●「北海道社会文庫通信」Ⅱ堅田精司編著。簡易印刷・限定配布の冊子。577号に大槻ユキ、1017号に大瀧ユキ、1057号に渡邊勝平、ハロルド・レーン、丸

山護、黒岩喜久雄、1062号にレーン、1110号に宮澤弘幸の消息がある。(真相事務局蔵)

【戦後の主な新聞記事】

- 「スパイ防止ってなんだ」Ⅱ『朝日新聞』連載。既出。
- 「宮沢事件 46年ぶり問い直す」Ⅱ『北海道新聞』夕刊(1987・7・3)(当該記事分・北大文書館蔵)
- 「国家秘密法への警鐘 宮沢事件」Ⅱ『朝日新聞』夕刊(1987・7・2)。(北海道版は7・6付・北大文書館蔵)
- 「宮沢事件 不幸な家族もう二度と…」Ⅱ『北海道新聞』(1987・7・8、当該記事分・北大文書館蔵)
- 「46年前の宮沢事件」Ⅱ『毎日新聞』(1987・7・21)(北海道版、当該記事分・北大文書館蔵)
- 「レーン・宮沢事件から70年」Ⅱ『北海道新聞』(2011年12月5日付から5回連載)。(当該記事分・北大文書館蔵)

【北大から真相を広める会宛公文書】

- 「故・宮澤弘幸に係る件について」Ⅱ2015(原文は平成25)年5月27日付、国立大学法人北海道大学総長 山口佳三名。真相を広める会代表宛て。
- 「故・宮澤弘幸氏に係る件について、工学部において、宮澤氏が在学された当時の書類を調査し、下記の公文書を新たに確認いたしましたことをご報告いたします」と

して、退学願ほかの写しを特定記録・速達で送付。(既出・宮澤弘幸の学内記録に同じ)

- 「故・宮澤弘幸に係る回答要請の件について」Ⅱ2015(原文は平成25)年12月5日付、国立大学法人北海道大学総長 山口佳三名。真相を広める会代表宛て。
- 「2013年10月10日付文書で申入れた宮澤弘幸に係る回答要請の件については、6月25日の交渉で伝えた以外に付言することなし」との内容。簡易書留・速達で送付。

- 「秋間美江子様への文書送付について」Ⅱ2016(原文は平成26)年2月18日付、国立大学法人北海道大学総長 山口佳三名。真相を広める会代表宛て。

「秋間美江子様へ別紙のとおり文書を送付いたしましたので、ご参考まで、貴会にもお知らせいたします。」として、創設する賞に宮澤弘幸名を冠することに了承を求める文書を同封して送付。

- 『心の会の碑』(仮称)建立についてⅡ2016(原文は平成26)年10月30日付、国立大学法人北海道大学総長 山口佳三名。真相を広める会代表宛て。

「本年9月30日付け文書で申入れのありました『心の会の碑』(仮称)の建立にかかる要請につきましては、応じることができませんので、ご了承願います。」との内容。根岸正和・真相を広める会事務局次長宛て。簡易書留で送付。

* 以上各文書と本会から北大宛発信の公式文書、FA

X、電話交信記録等は、「北大に求めた処置と責任―冊子『真相を知ってほしい』補訂第2版」に全文を掲載し、ホームページで公開している。

【真相を広める会の集会と講演とアピール】

●2013・1・29「結成集会」(札幌) 〓活動方針「宮澤弘幸さんの名誉回復と秘密保全法阻止へ」

●2013・2・23「宮澤弘幸追悼・顕彰 秘密保全法を考える集い」(東京) 〓講演「秘密保全法をめぐる情勢」(泉澤章・弁護士)

●2013・10・10「秘密保護法阻止シンポジウム この道は、いつか来た道」 〓集会資料(論考)「秘密保護法は軍機保護法がきた道」(『会報』第4号、2013・10・13付号外に収録) ▽アピール「宮澤・レーン・スパイ冤罪事件の再来を許すな」(『会報』第5号収録) ▽秋間美江子のメッセージ(『会報』第5号収録)

●2013・10・13「この道は、戦争への道! 宮澤・レーン・スパイ冤罪事件の再来を許すな! 秘密保護法阻止 札幌集会」 〓決議「再び宮澤・レーン事件の悲劇を許さず、戦争への道を開く特定秘密保護法案、憲法改悪に断固反対する決議」(『会報』第5号収録)

●2013・12・8「もうひとつの12月8日札幌集会」 〓声明「憲法破壊・日本を戦争する国に変える秘密保護法案の強行可決に厳重に抗議する」(『会報』第6号収録)

●2014・2・22「宮澤弘幸追悼・顕彰のつどい―悪夢を再来させる秘密保護法を許さない」(東京) 〓講演「秘密保護法の危険性と安倍政権の暴走」(岸井成格・毎日新聞特別編集委員) (『会報』第7号収録) ▽アピール「悪夢再来の秘密保護法を許さない」(『会報』第7号収録)

●2014・5・6「秘密保護法廃棄と宮澤弘幸の名誉回復を求める市民集会」(札幌) 〓アピール「北海道大学は宮澤弘幸の名誉を回復せよ」(『会報』第9号収録)

●2014・12・7「宮澤・レーン事件、秘密保護法廃止市民集会」(札幌) 〓講演「宮澤・レーン事件から考える特定秘密保護法―この国はどこへ向かおうとしているのか?」(斎藤耕・弁護士) (『会報』第11号収録) ▽アピール「今こそ戦争への道許さぬ決意を固めよう」(『会報』第11号収録)

●2015・2・22「戦争への道許さず、秘密保護法廃止を! ―宮澤弘幸追悼・顕彰のつどい」(東京) 〓講演「秘密保護法が与える市民生活への影響―あくまでも廃止を求めて」(清水雅彦・日本体育大学教授) (『会報』第12号収録) ▽アピール「戦争への道を許さず、秘密保護法廃止を! 安倍政権の暴走を阻止するために全力をあげよう!」(『会報』第12号収録)

●2015・5・20決意表明「9条は人類の宝・日本国民の誇り 許すな壊憲・戦争法案!」(『会報』第13号収録) ▽論考「戦争法案と一体の国民弾圧治安立法 盗

聴法・刑事訴訟法改悪を許すな」(福島清)『会報』第13号収録)

●2015・12・6「特定秘密保護法廃止! 安保法制Ⅱ戦争法廃止! 宮澤・レーン・スパイ冤罪事件の再来を許さない道民の集い」(札幌)Ⅱ講演「戦時下の言論・思想弾圧」(荻野富士夫・小樽商科大学教授)(既出、『会報』第14号収録)▽決議「宮澤・レーン・スパイ冤罪事件の再来を許さず、安倍政権の憲法破壊の一切の戦争法の破棄を要求する決議」(『会報』第14号収録)

【真相を広める会の記録・文献】

●『会報』Ⅱ第1号(2013・2・4)Ⅲ第14号(2015・12・20)、会報号外①(2016・3・30)Ⅲ会報号外⑥(2016・8・15)。全号収録合本も刊行。

●『会報別冊』Ⅱ『宮澤・レーン・スパイ冤罪事件 真相を究め広める取組み 軌跡と展望』2016・8・15刊。

▽総括と決定(会発足以来の活動総括と節々で行った活動の方向性を決める全決定)

▽1941年12月8日のこと(宮澤弘幸が検挙された状況の真相究明を目指す論考)

▽1943年5月27日を忘れない(この日付は宮澤弘幸の上告が棄却された日。再審請求に関する論考)

▽建碑に寄せられた意見(北大構内に「心の会」活動

の顕彰碑を建てようと呼びかける本会の提起に寄せられた賛同者の意見集)

▽活動経過(本会発足以前の2012・10・23から2016・8・15までの全記録)

▽新聞・NHK・団体機関紙誌等の報道目録(2012・10・24Ⅲ2016・2・24の本会活動とかかわる主な報道の目録)

▽花伝社刊『引き裂かれた青春―戦争と国家秘密』索引(本書刊行時に間に合わなかった索引と若干の編集後記追加)

●『宮澤・レーン・スパイ冤罪事件 活動記録と資料集』Ⅱ右の『会報』『会報別冊』と第5パンフ『北大に求めた処置と責任』を「資料集」として合本・製本した。

●冊子Ⅱ既出

●リーフⅡ随時、発行。

▽「真相を広め、秘密保護法を廃棄するために」(2014年)

▽「北大生のみなさん、全国のみなさん」(2015年)

▽「二度と許すまじ!」(2016年)

▽「共謀罪 断固反対!」(2017年)

▽「共謀罪 断固反対!」連名版(同)

●『事務局たより』Ⅱ第1号(2016・9・16)から随時発行・継続中。

●ホームページ(<http://miyazawa-lane.com/>)Ⅱ『会報別冊』発行後の活動を随時掲載。

●事件関連の現地写真Ⅱ北大構内・外国人教師官舎跡▽
マチルド太黒宅跡▽宮澤弘幸下宿跡▽北星学園▽北光教
会▽天使病院▽レーン家墓地▽宮澤家墓地▽マライーニ
墓地▽札幌拘留所跡▽網走刑務所旧正門▽内務省跡▽裁
判所跡（いずれも真相事務局蔵）

【資料・文献の保存・展示施設】

北海道大学総合博物館

Ⅱ北海道札幌市北区北8条西5丁目北大構内

北海道大学百年記念館

Ⅱ北海道札幌市北区北8条西5丁目北大構内

北海道大学文書館

Ⅱ北海道札幌市北区北8条西5丁目北大構内

札幌市公文書館

Ⅱ北海道札幌市中央区南8条西2丁目

札幌市資料館

Ⅱ北海道札幌市中央区大通西13丁目

国立国会図書館（東京本館）

Ⅱ東京都千代田区永田町1の10の1

国立国会図書館（関西館）

Ⅱ京都府相楽郡精華町精華台8の1の3